



発行所 龍共町黒田 22-5353
 編集人 飯田 竜一
 印刷所 印刷株式会社
 印刷機 龍共町黒田 22-5353

人口 6,445人
 男子 3,129人
 女子 3,316人
 世帯数 1,834戸
 (4年10月末日現在)



引け！力のがぎり

竜丘地区市民運動会が去る十月十日
 育の日、小学校グラウンドで行なわれた。
 延べ二千人の選手が力を出し合い、名実
 共に竜丘秋のスポーツの祭典となった。

「ドオン」と鳴る、早朝の打上げ花火の音。

平成四年、市民運動会の幕開け。伝統の小学生による「聖火リレー」が竜丘地区内を、回り、いよいよ開会式。校庭には朝早くから多くの地区民が集まった。運動会の気運も高まり、準備体操の後いよいよ熱戦の火ぶたが切られた。

当日は、十月十日、体育の日、開会式が終わる頃には、快晴となり、熱の入った分館対抗種目では、競技が、終わって帰って来ると汗ばむほどの好天に恵まれた中で、各項目が行われていった。

午前中は、一般参加種目五種目、分館対抗種目八種目が行なわれた。一般種目では、かけっこ、マラソン、二人三脚パン食い競争といった恒例の種目で、参加者もまずまず、各競技に積極的に参加する選手が、多勢見受けられました。

分館対抗種目では、各分館から選ばれた選手が、熱が入った競技を繰り広げ、校庭内は、選手と応援の熱気が渦巻く大接戦となり、午前中の採点種目八種目を終えて、トッポを走る駄科分館から、五位の分館まで七得点差という大接戦で、前半を折り返し、後半の盛り上がりへとつながっていった。昼食の時間となりちよっとなーと一息。分館ごとに、それ

種目の採点競技、消防団の意気では、法被姿の力強い団員の方々によりグラウンドを七周半リレーで回る競技が行われ、あきつ技かたの白熱した戦いとなり迫力満点でした。

一般種目の、青年会の種目など、中味にひと工夫、趣向をこらした種目もあり新鮮さを感じられました。最終種目の「年次むかで」では、二位以下が大接戦各分館とも総立ちの応援、この頃には、選手の方達も日頃の運動不足のせいか足が前に出ない選手が見うけられ思うように進まないようでした。

成績は、優勝一駄科、二位一桐林、三位一時又、四位一長野原、五位一上川路でした。各地区体育部、青年会、その他関係者の協力です。竜丘の秋の祭典となった。



追いつけ 追いこせ

健康に自信がありますか

松沢保健婦

地区の運動会も終わり、何年かぶりに走ってみただけ、気持ちはずいぶん軽くなった。なにが原因か、体がここから痛く「あーあ、体力がなくなつたなあ」と残念に感じ

グループ紹介

竜丘マレットゴルフ

同好会発足

先日、竜丘マレットゴルフ同好会が発足し、十月八日に上郷町姫宮のマレットゴルフ場で大会が行われました。

発足のきっかけは、三年前の公民館の研修旅行に初めて取り入れたところ、大変好評で、その後同好会をという話も持ち上がったのですが、組織化が出来ず公民館主催で三回ほどの大会が行われた後、有志が集まって同好会がスタートし、先日の大会と、総会が行われて正式に発足したということです。

現在会員約八十名を数えるということで、先日の大会には五十六名の方々が参加されました。

マレットゴルフというのは、ゴルフと似ていますが、ボールが重く、スイングが難しく、ボールの大きさが変わるので、練習が難しいです。最近こちらでコースが出来ると、それを楽しまれたいという方が増えています。

このスポーツに興味がある方、入会ご希望の方は、随時受け付けています。この会では今後地区大会と、年三回の竜丘全部の大会を開催して行きたいと考えています。

後には竜丘地区内にマレットゴルフコースが出来ればもっと多くの方が楽しめるようになるのにと会長さんはおっしゃっていました。



とがわかっていません。竜丘地区でも、より健康に、よりさわやかに、よりバランスよくスマイルを目指して十月から「酸素いっぱい教室」を開講しました。三十歳代〜六十歳代の男女二十七名で「正しく歩く」こと「バランスよく食べる」ことを中心に学習し、十一月から地区内を、それぞれの体力に合った速さで歩き始めました。

近ごろは、健康づくりの目的で歩き始める人も増えていますが、より効果を得るための原則を紹介しましょう。

①オーバーロードの原則 ゆっくりペースでは効果が出ないが、速すぎるとかえって体の故障を招く。目安は「少し汗ばむ程度で、

去る九月二十四日〜二十五日に開催された、第四十回記念長野原公民館大会において、県公民館活動推進功労者の表彰が行なわれ、竜丘地区からは二名が晴れの受賞者となった。

桐林の岡村巧さん、時又の加藤直樹さんのお二人は、竜丘公民館広報委員として十数年の長きにわたる活動され、先頃発表された「館



加藤直樹さん 岡村 巧さん

先日、竜丘市民運動会が行なわれた。青空の下、各区の選手がそれぞれの種目で、精一杯がんばっている姿、それを応援する大勢の区民の姿が印象的だった。

おそろく、日頃はあまり意識してはいないと思うが運動会となると「自分は時又の人間だ」とか「自分は駄科の人間だ」という事に気が付く。区の手先の順位に、素直に一喜一憂する。「郷土愛」とも言うのだろうか。日頃忘れていた事を強く感じた一日だった。

ところで、区が郷土であると同時に、竜丘が郷土であり、飯田市もまた郷土である。視野を少し広げてみたい。

市民運動会の翌週の日に、任期満了に伴う飯田市長選挙が執行された。言うまでもなく、市長選というものは、今後四年間の飯田市の方針を決定する選挙である。上郷町との合併問題や「地方拠点都市の指定」問題などを始めとして、郷土の今後を考える機会であったはずだ。

しかし、こちらの方には郷土愛は発揮されなかったようだ。約六十五パーセントという、余りにも低い投票率には、郷土の将来を真剣に考える熱意が、残念ながら感じられなかった。

投票率が低かった原因について検討する紙幅はないが、事態の重要性は訴えたい。

竜丘の将来を考えるためには、飯田市の将来を考えることは不可欠だ。合併によって市の事業の北部偏重も懸念されている。より良い郷土竜丘を築くために様々な事業が展開されているが、今一度自治の基本を考える必要があるだろう。

“すこやかに 生き甲斐ある老後を”テーマに

—敬老会開かれる—

敬老の日に、公民館・社協竜丘分会主催の竜丘地区敬老会が、約二百五十名の参加者の中開かれました。
“すこやかに生き甲斐ある老後を”をテーマに、様々な行事を行ない、楽しい一日を過ごしました。

去る九月十五日の敬老の日、今年も竜丘地区敬老会が、竜丘小学校で開かれました。
当日は、長寿を祝う様に絶好の秋晴れとなり、御家族の方の車で送られた、参加者の皆さんで会場は一杯となりました。

竜丘地区内の該当者は、



心うたれた はぐるま楽団

五二七名ですが、当日は約その半分の方が出席され、開会前より体育館は熱気にあふれていました。
いよいよ開会。公民館長のあいさつ、仕事や趣味を通して高齢にも関わらず、非常に御元気に老後を通しておられる方々の紹介がされ、続いて小学生の作文

を四年生の吉村奏絵さん、五年生の斎藤玲子さん、六年生の下平幸子さんが行い、会場からは、大きな拍手が送られていました。
引き続き、八十歳のお祝いが行なわれ、三十六名の方に記念品が贈られました。
記念行事は、『光の園、はぐるま楽団』響け心に、という事で、盲人専用老人ホームの音楽クラブの皆さんが、体のハンディキャップを克服し、常日頃の練習の成果を生かして披露される姿に、大きな拍手と声援が送られました。

響け太鼓よ竜丘の地に

全国青年大会に出場して

竜丘青年会の時又・長野原・上川路支会では、十一月六・七・八日に東京で開かれる全国青年祭に創作郷土芸能の部門に出場した。

昨年、いや一昨年の田楽座公演をきっかけに始めた太鼓で、ついに昨年の県青年文化祭にて全国へのキップ

を手にする事が出来たのだ。こんなに早く夢がかなうとは誰が予想したのだろうか。

青年団の文化祭とは、地域に住む青年誰もが出場できる。ただし団員として参

りになりました。けれど、以前よりもたくさん店ができ、桑畑は減りました。

それが環境破壊だと一概にはいえません。店ができたことで、生活は便利

になったのですから。だからといって、人間の利益のためにどんどん畑をつぶし、店を建てていく

ことは許されません。絶滅の危機にさらされているトキのように、桑が貴重になったら騒がれるでしょうが…。

そんなことになって、初めてそのもの大切さに気付くようでは遅いのです。(もちろん、そんな人が燃えるような桑の葉の緑を、残しておきたいと思いませんか。

方として頑張られた、関係者の皆様も大変御苦労様でした。
最後に、すこやかに生き甲斐ある老後を過ごし、来年も又、敬老会でお会いしましょう。

が目的ではなく、皆に自分の思いを伝えたい、自分達がかまえて出来るか試したい、皆で一つの物を創り上げる喜びをわかち合いたい、そんな思いで文化祭に打ち込んでいます。

まず市青年文化祭があり、各部門ごと最優秀、優秀、努力賞を決め、最も評価の高い地区団が県青年文化祭へ推薦される。審査には専門家、各地区団団長等がある。県でも同様にして全国青年祭への推薦を受け一年後に出場という事になる。とても長い道のりだ。

この一年、全国青年祭に向け練習を重ねて来た。又、成人式や敬老の日等に出演させていただく等、地域の

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

加する事になる。そして、演劇・郷土芸能・創作郷土芸能・合唱・人形劇・フリーステージの部門に分けられ、その内容、表現力、技術、練習の過程等から評価し賞をうける。ただし、賞だけ

燃えるような緑を

中学二年生 熊谷園子



私達の竜丘

私達の住んでる竜丘は近年、パイパス沿いへていかなければならないと、大型店の進出、サンヒルズや時又港など、多方面からの目覚ましい発展を上げています。そんな竜丘について将来に向けて思うことを少し述べてみたいと思います。

竜丘の未来によせて

中学三年生 下平一博

まず、もっとも暮らだけの利益や便利さを追い求めると、結果として自然を破壊してしまうと思いませんか。道が狭い、近くで用事を済ませられない、などとても多くの緑があり、不便だなあ、と思う事がまた大ききまな大きき

の古墳や遺跡、寺社などでも多くの文化財を守っていかねばならないと思えます。
自然を残しつつ人間には便利にしていく、たしかに

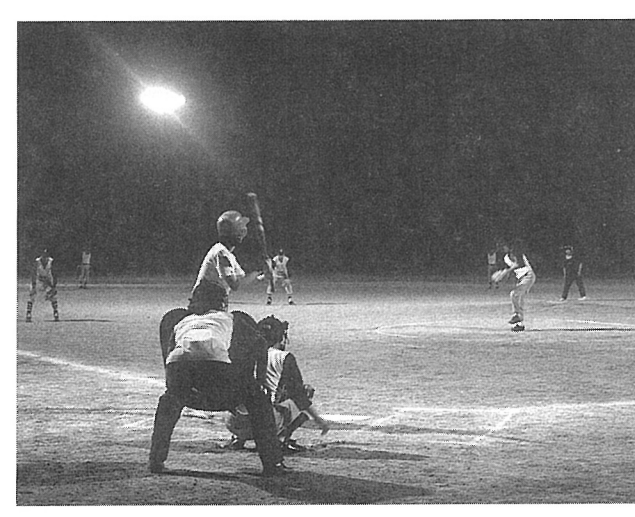
これは、竜丘小学校の校歌です。私はこの歌によって、竜丘に桑畑がたくさんあることを知りました。学校の門を出ると、桑の葉が本当に燃えるほど鮮やかに広がっていました。
四年生の写生大会では、工事現場を描きました。その工事とは、桑畑だったところに竜丘保育園を建てる

「校歌のとおりじゃなくなっちゃうなあ。」
と言ったのを覚えています。あれから五年過ぎ、環境保護が盛んに叫ばれるよう

になりました。その後、詩吟、大正琴、コーラス、祝いの太鼓と行なわれ大変楽しい祝宴会となりました。
最後に全員で、『もみじ』を合唱し会を終えました。この会の成功の為に、裏

各種スポーツ リーグ戦終わる

早起き野球・十一チーム、夜間ソフト・十一チーム、夜間バレーボール・十チームで、四月より熱戦が行われて来た、各リーグ戦がそれぞれ日程を終了し閉会式が行われました。
十月二十三日に行われた



- 早起き野球リーグ
一位 長野原クラブ
二位 ペガサス

- 三位 ダックス
春季トーナメント
一位 長野原クラブ
二位 ペガサス
秋季トーナメント
一位 城陸
二位 シャトー鈴岡
夜間ソフトリーグ
前期
一位 松葉
二位 球遊会
シープホース
KOA
後期
一位 球遊会
二位 高島建設
三位 松葉
前後期の総合優勝は球遊会でした。
夜間バレーリーグ
一位 さくら
二位 パワーズ
三位 上川路



白鷺の 変則九人制バレー

九月十三日の日曜日小学校体育館で、常会交流男女バレーボール大会が行われました。これは各分館の予選を勝ち抜いた、常会単位の代表チームによる分館対抗で争われました。女子六人、男子三人という変則九人制で特に男子は後方三分の一に引かれたラインより出てはいけないとルールは厳しかった割には、分館の代表という事もあり、白熱した試合が繰りひろげられました。結果は、駄科の優勝でしたが、各チームとも精一杯のプレーが出来、充実したバレーボール大会でした。